

<様式>

学 校 名	山形市立本沢小学校 山形市大字長谷堂 1111 の 1 TEL (023) 688-2420 FAX (023) v688-9044	校 長 鎌 田 史 顕
		研究主任 高 梨 聡 子
研 究 主 題	地域での学びを生かし、 自ら考え、成長し合う子どもの育成 ～ 2 年 次 ～	
研 究 主 題 設 定 の 理 由	<b>&lt;本校の子どもたちの実態より&gt;</b> 本校は、学級の人数が 10 人前後の小さい学校である。子どもたちは 6 年間同じ学級で過ごし、互いに理解し合って生活することができたり、教師にとっては個を尊重した指導ができたりする良さがある。その反面、多様性のなさ、公共の意識を持たせる難しさ、新しい環境でたくましく適応することができないという課題がある。また、古くからこの地区で生活している家庭が多く、子どもたちの意識も地域とのつながりが深い。学区は「城山（長谷堂城）」の城下町としての文化が残っていて、山や川もあり、豊かな自然と独自の文化を大切にする土地柄である。協力してくださる地域の専門家も多く、地域から学ぶ環境が整っている。 <b>&lt;令和 4 年度学校研究全体会より&gt;</b> それぞれの学年が地域の資源を生かした授業づくりに取り組み、地域に実際に出かけ、地域や保護者と積極的に関わり、地域全体を学びの場とした学習を展開することができた。 見えてきた課題として、「自己選択・決定の場を設定する」「豊かな体験活動と表現活動を相互作用的に機能させる」「『振り返り』を通して子ども自らが自分の学習状況を把握して主体的に学習を調整する」などが挙げられた。今年度はそれらの視点を具体的な授業改善につなげられるよう研究を進めていく。 <b>&lt;教師の願い&gt;</b> 私たちは、自分に自信を持ち、身に付けてきた資質や能力を主体的に発揮しながら夢を実現したり、地域や社会の役に立つことを喜びとしたりする子どもに育てたいと願っている。本沢小学校の強みを最大限に生かし、課題には適切な手立てをとりながら、子ども一人一人がこの地域から学んだことを生かして、豊かな心を持ち、たくましく生きる力を確実に身につけてほしいという願いから、この研究テーマを設定した。	
研 究 の 目 標	主題に迫るため、次の 3 つの視点でめざす子どもの姿を設定する。教育課程全体で、これらの視点で子どもたちの育ちをとらえていく。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #e6f2ff; text-align: center;"><b>(1) 見通しをもちながら主体的に課題を解決していく子ども</b> <b>(2) 豊かに考え、のびのびと表現する子ども</b> <b>(3) かかわり合いの中で考えを深めることのできる子ども</b></div> <b>(1) 見通しをもちながら主体的に課題を解決していく子ども</b> 子どもたちが課題を自分のこととしてとらえ、解決したいという意欲をもつことが、一人一人の主体性を喚起し、意欲の持続を支えることになる。子どもたちが、課題に対して解決の見通しをもち、主体的に探究していく姿をめざしていきたい。 <b>(2) 豊かに考え、のびのびと表現する子ども</b> 授業を中心とする教育活動では教科の本質に触れさせ、地域の素材を生かした豊かな体験活動を通して学ぶ楽しさを十分に味わわせる。子どもたちがもてる力のすべてを発揮しながら五感を働かせ、豊かにのびのびと表現する姿をめざしていきたい。 <b>(3) かかわり合いの中で考えを深めることのできる子ども</b> 仲間だけでなく、地域の方々とかかわりを通して知識を得たり経験を積んだりしながら、自己の考えを広げ、深めていく。仲間と共に考えたり表現したりする中で、より知識や技能を定着させ、多面的で深い理解に至る学びを展開していく。	

<p>研究の仮説</p>	<p><b>目標(1)にかかわって</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもたちの気づき・疑問をもとに課題を設定し探究を進めていくことで、課題を自分事としてとらえ、意欲的に探究をし続ける子どもの学びを展開することができるのではないかな。</li> <li>○年間を通して学習の「振り返り」を意図的に位置付け、蓄積し、折に触れて意識させることで、自分の成長や自己有用感を実感し、より良く課題を解決していこうという意欲をもつことができるのではないかな。</li> </ul> <p><b>目標(2)にかかわって</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○年間を通して、季節や地域の動き、学校行事等に合わせて意図的に表現・発信の活動を設定することで、様々な人・場面に応じた表現活動を経験し、表現力を高めることができるのではないかな。</li> <li>○地域の素材を生かした五感に働きかける豊かな体験活動を設定し、学ぶ楽しさを十分に味わわせることで、表現したいという意欲を喚起し、子どもたちが持てる力を発揮してのびのびと表現する姿を引き出すことができるのではないかな。</li> </ul> <p><b>目標(3)にかかわって</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な見方・考え方をする仲間とのかかわりの中で、自分と異なる意見を取り入れたり、取捨選択したり、自分で最適解を導き出したり、新たな考えを創出したりすることにより、学び合い、高め合う学習集団を育てていくことができるのではないかな。</li> <li>○地域の方と関わり、積極的に地域に発信していくことで、地域だけでなく社会の一員として自己の生き方を考えていくための資質能力を育むことができるのではないかな。</li> </ul>
<p>研究の内容</p>	<p><b>(1) 育みたい資質能力を明確にした単元・授業づくりをめざす</b>      ～昨年度から継続して考えている本校で育みたい資質・能力～  <b>①主体性 ②探求心 ③伝え合う力 ④本沢を愛する心</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元指導計画、本時の授業の中に、資質・能力を育てる手立てを明確に位置付ける。</li> <li>・地域素材を生かした豊かな体験活動を経験させることで、学ぶ楽しさを実感させる。</li> <li>・仲間と共に考え、表現することで質の高い豊かな学びを生み出す</li> </ul> <p><b>(2) 生きて働くカリキュラムマネジメントの作成と活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科、総合的な学習の時間を中心単元として、学級の特性に応じて、1年間の学びを見通し、学年の学習内容を効果的に関連させることができるカリキュラムマネジメント表の在り方・活用について探っていく。</li> </ul>
<p>研究の方法</p>	<p><b>(1) 子どもの思いを大切にせる授業の実践(7学級の授業実践から学ぶ)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活科・総合的な学習の時間を窓口にした授業研究(特別支援学級は教科指定なし)</li> <li>・カリキュラムマネジメントを活用し、「育みたい資質・能力」を明確にした授業づくり</li> <li>・生活科、総合的な学習の時間の基本的な学習過程を意識した単元構成の実施。</li> <li>・昨年の実践を生かし、子どもの思いに寄り添った単元構成の設定</li> <li>・子どもの姿を丁寧に見取り、</li> <li>・学び合う事前研究会・事後研究会の実施。共同で事前の授業づくりに取り組む。</li> <li>・研究全体会を通して、成果と課題の共有を図る(ワークショップ型全体会の導入)</li> <li>・事後研の振り返りを発行。情報(成果・課題)の発信・共有</li> <li>・身に付けさせたい資質・能力を明確にした構造的な指導案の提案</li> </ul> <p><b>(2) 生きて働くカリキュラムマネジメントの作成と活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を招聘。本校の実態に合ったカリキュラムマネジメントの作成、活用について研修する。</li> <li>・カリキュラムマネジメントの振り返りの時間を教育課程に設定。見通しを持ち、適切に更新を重ねながら進めていく。</li> </ul> <p><b>(3) 計画的な研修会の実施</b> (詳細は「研究の計画」に)</p>

研究  
の  
計  
画

- 4月28日(月) 研究全体会 今年度の研究の方向性について
- 5月15日(月) 研修「総合的な学習・生活科とカリキュラムマネジメントの活用」
- 6月20日(火) 第1回授業研究会
- 7月12日(水) 第2回授業研究会
- 7月28日(金) 研修 講師招聘 「1学期の振り返りと今後の方向性」
- 11月15日(水) 第3回授業研究会
- 11月30日(水) 第4回授業研究会
- 12月 5日(火) 研究全体会 カリキュラムマネジメント振り返り
- 1月24日(水) 第5回授業研究会
- 2月27日(火) 研究全体会 研究の振り返り「成果と課題」 次年度にむけて
- 3月<未定> 研究実践記録集 編集